

第6期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

協議テーマ	今年度の方向性と議題について
開催回・開催日	第3回（専門部会）2018年7月
記録担当委員名	生涯発達支援部会 小幡美穂
<p>【協議概要】 今までの課題を振り返り、今年度の方向性と議題について意思疎通を図った</p> <p>【課題となった事項の整理】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当事者の聞き取りから見えてくる課題をどう検討していくのか。 2. 現在、幼児～学齢期の児童・生徒における課題は何か。 3. その他（条例について） <p>【課題解決に向けて】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当事者の聞き取りで見えてきた課題が、実際の支援体制をつくることに繋がった。ひとつの例として、通常学級に通う車いすユーザーの児童の聞き取りから、教育委員会と情報を共有。支援体制をつくるきっかけとなった。 現在、市内二か所（第二小学校、第四小学校）に昇降機を設置。介助員も配置されている。これから入学してくるであろう児童、生徒にも情報共有される必要がある。周知については今後の課題。 2. *障害種別によって困ることが違うことから、様々な障害種の当事者から聞き取りすることが必要である（・高次脳機能障害 ・精神疾患 ・知的障害 ・聴覚、視覚障害・発達障害 など） *不登校、引きこもり当事者やその親からの聞き取り。 *障害者の生涯学習についても協議したい。 *現場の先生は何を課題と感じているのか。 →聞き取った情報を、どう実際に支援に生かしていくのか、部会で時間をかけて協議する必要がある。 3. 条例について *逐条解説について 市民の意見を聴く機会をどこで持ってくるのか *パンフレットの作成に、市民参加はできるのか *調整委員会の構成メンバーはだれが決めるのか →市が調整委員会の要綱を作成中 ※3 については合同部会で協議 <p>【次回の協議内容予定】 当事者の聞き取り（高次脳機能障害の青年…予定）</p>	
【次回の開催日程】	